

2019年9月期 第3四半期決算説明会

キーメッセージ

景気影響受けるも高成長トレンドに回帰、来期以降に向けた仕込も順調

2019年8月7日

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

第58回

GMO PAYMENT GATEWAY

<https://corp.gmo-pg.com/>

当資料取扱上のご注意

本資料に記載された内容は、2019年8月7日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢並びに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

アジェンダ

1. 2019年9月期 第3四半期業績サマリー
2. 今後の取り組みと成長戦略
3. 財務ハイライト
4. 参考資料等

1. 2019年9月期 第3四半期業績サマリー

1.1 業績サマリー

売上収益 + 25.3%増、営業利益 + 30.2%と共に計画を上回る進捗

■業績面

(百万円)	2018年9月期 3Q累計実績	2019年9月期 3Q累計実績	前年同期比	2019年9月期 通期計画	2019年9月期 通期計画進捗率
売上収益	19,122	23,961	+ 25.3%	31,850	75.2%
営業利益	5,190	6,760	+ 30.2%	8,300	81.4%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	3,016	4,252	+ 41.0%	5,106	83.3%
EBITDA ※1	5,858	7,543	+ 28.7%	-	-

KPI ※2	稼働店舗数 (3Q末)	決済処理件数 (単3Q)	決済処理金額 (単3Q)
	105,891店 ※3 (+ 16.0%)	約4.3億件 (+ 26.1%)	約1.09兆円 (+ 24.0%)

※1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 ※2 対面決済分は含まず、()内は前年同期比

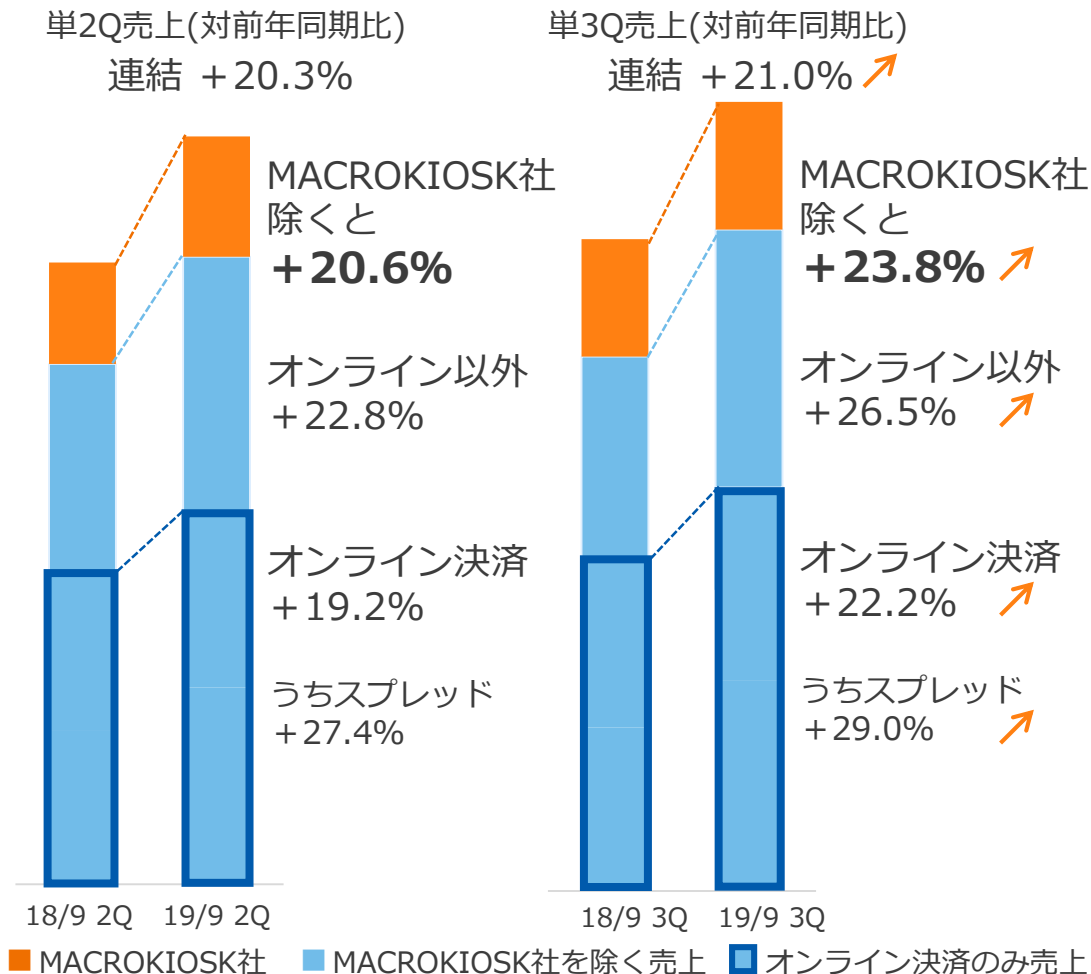
※3 直近の著しい稼働店舗数増加要因となる特定案件に係る新規店舗数を除く。

なお、当該案件を含む2019年6月末時点の稼働店舗数は184,480店 (前年同期比 + 97.4%)

1.2 当期2Q→3Q売上収益比較

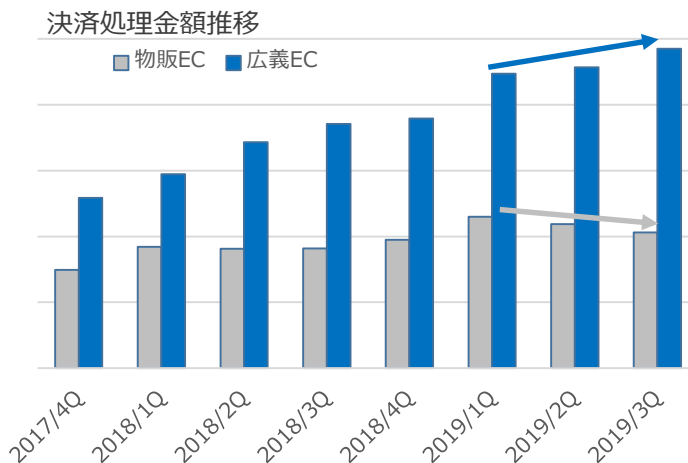
単3QはMACROKIOSK社除くと+23.8%、高成長トレンドに回帰

■ 単2Q及び単3Qの売上前年同期比較



■ 単3Qで成長率が伸長した要因

【1】物販系の落ち込みを広義ECがカバー



【2】オンライン決済+22.2%

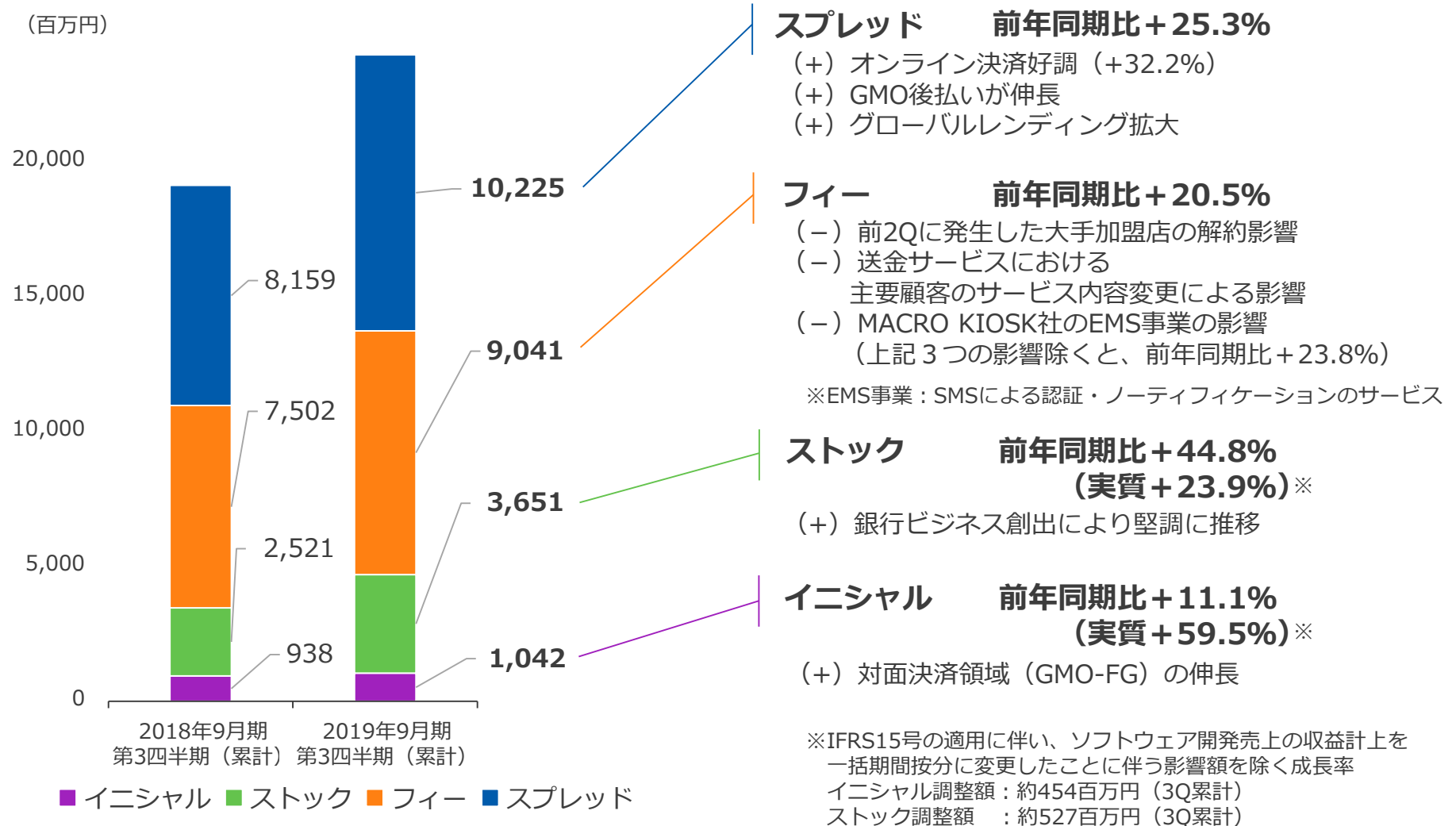
スプレッド売上好調+29.0%

【3】オンライン決済以外

前期発生した一部加盟店の収益変更の影響が解消し、同条件での評価となったため

1.3 ビジネスモデル別売上収益（3Q累計）

全体+25.3%の中、特にコア事業のオンライン決済（スプレッド）が好調



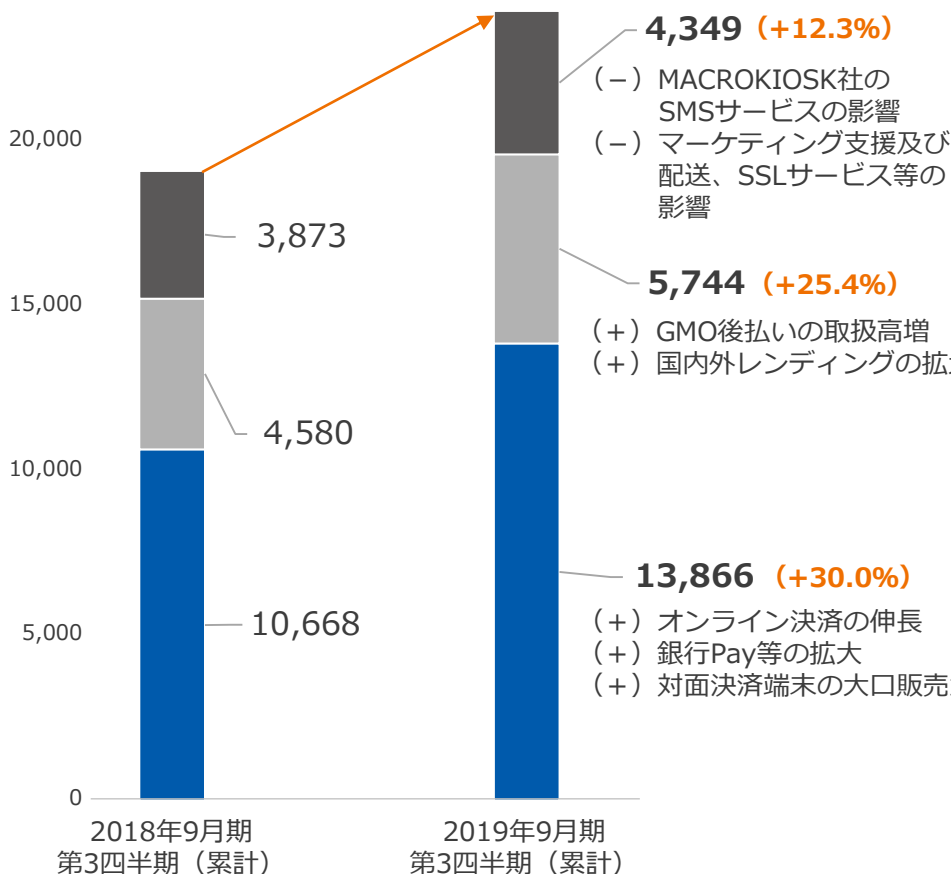
1.4 セグメント別売上収益・営業利益（3Q累計）

決済代行・MSBの好調が、先行投資段階にある決済活性化事業をカバー

■セグメント別売上収益

(百万円)
25,000

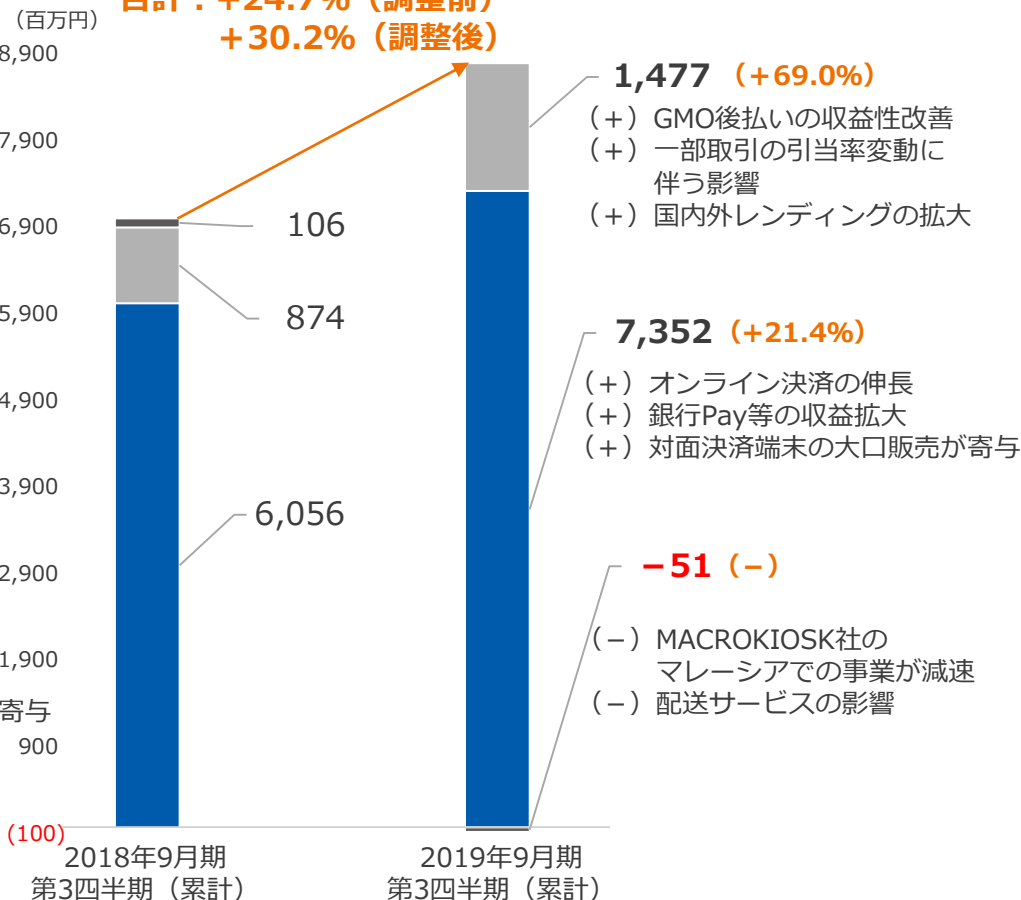
合計：+25.3%



■セグメント別営業利益（連結調整前）

() : 前年同期比

合計：+24.7%（調整前）
+30.2%（調整後）



2. 今後の取り組みと成長戦略

2.1 加盟店の変遷と2025年に向けた成長戦略

営業利益250億に向けた戦略を遂行、加盟店の領域・規模拡大に注力



※1 三井住友フィナンシャルグループ・三井住友銀行・GMO インターネット・GMO ペイメントゲートウェイにおける資本・業務提携

※2 2020年以降の営業利益および決済処理金額は当社目標

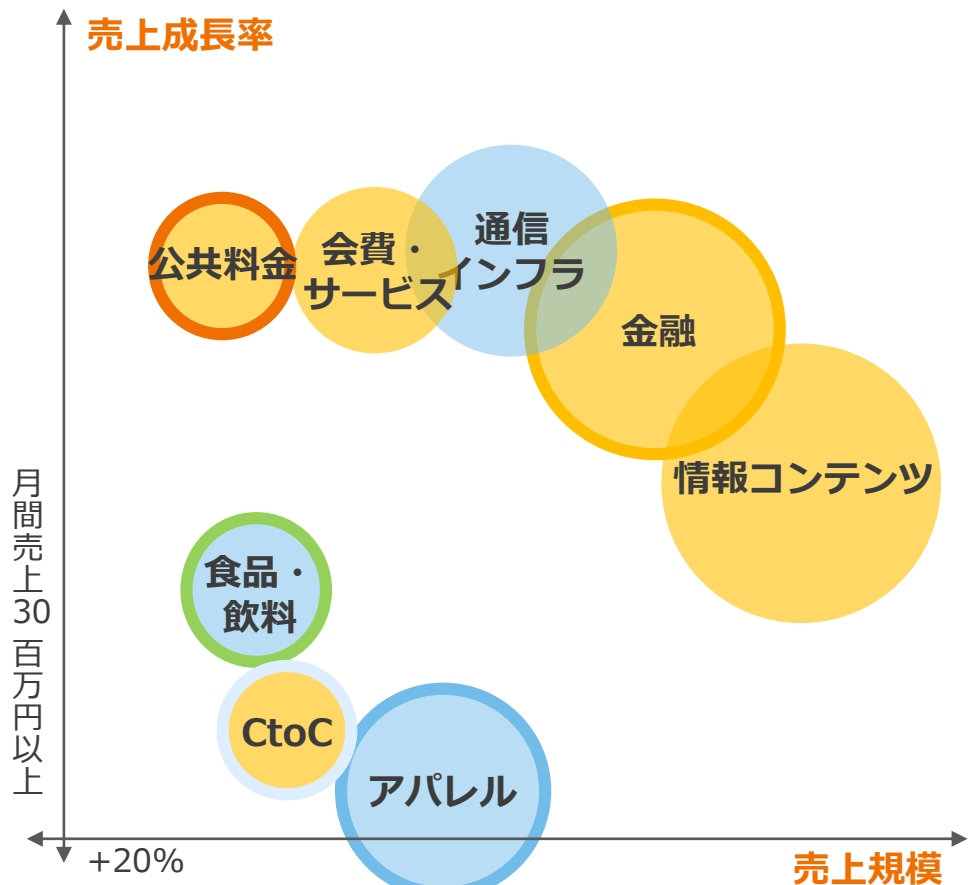
2.2.1 広義EC：新市場の開拓①

物販以外の広義EC分野伸長が成長を牽引

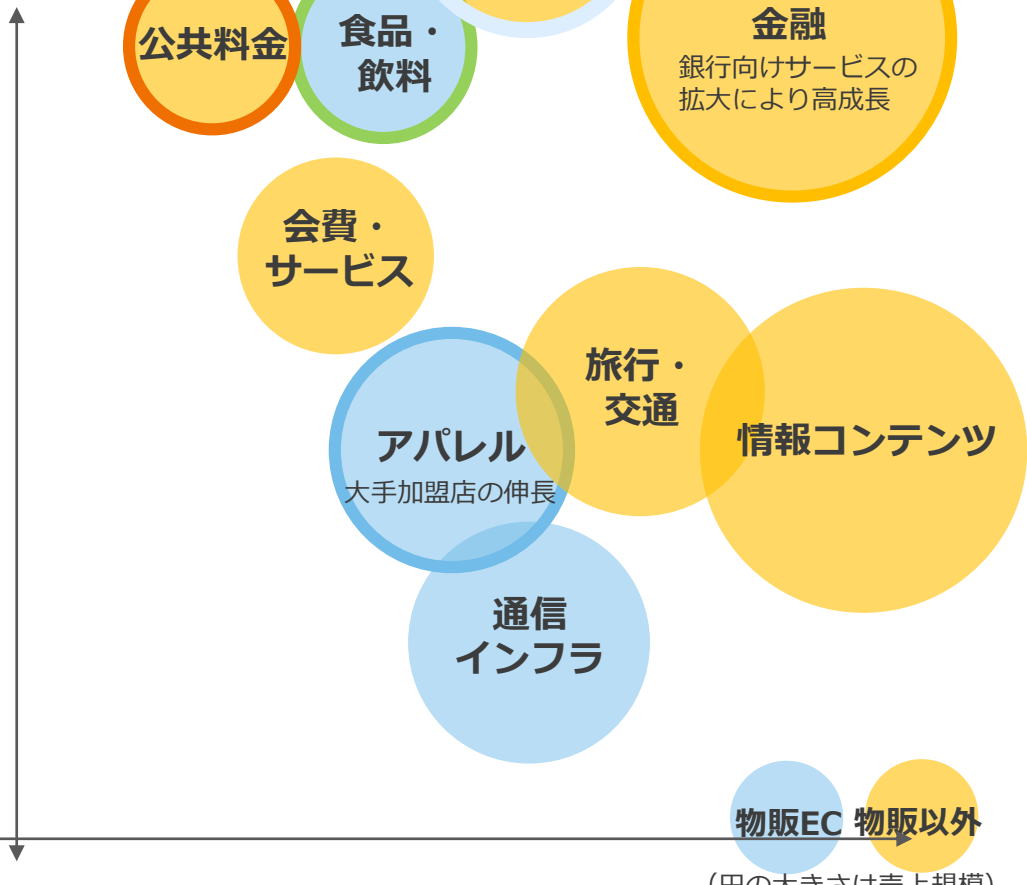
■当社加盟店業種別分布図

(PG単体データ、月間売上高30百万円以上かつ年間成長率20%以上を表示)

2年前



現在



2.2.2 広義EC：新市場の開拓②

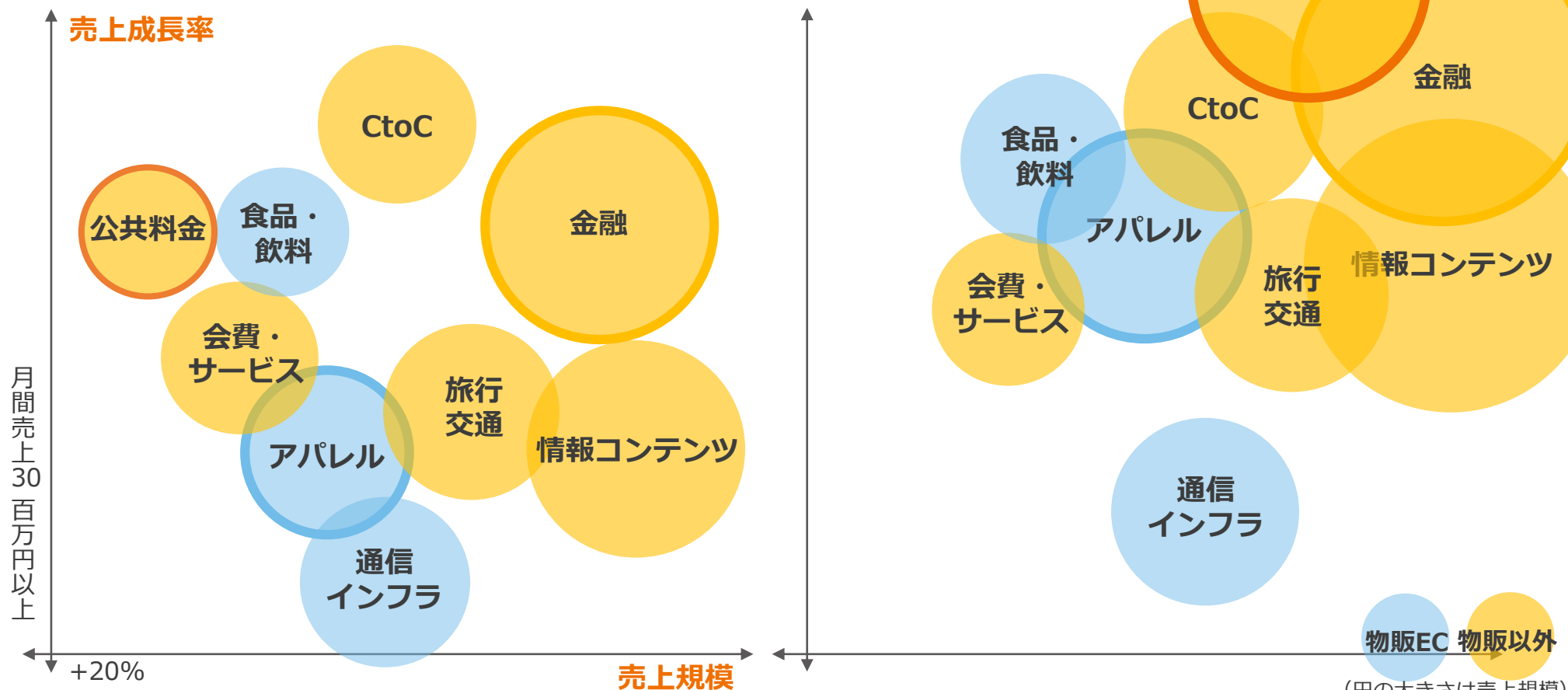
さらなる新市場の開拓、景気影響を受けにくい領域への注力

■当社加盟店業種別分布図

(PG単体データ、月間売上高30百万円以上かつ年間成長率20%以上を表示)

現在

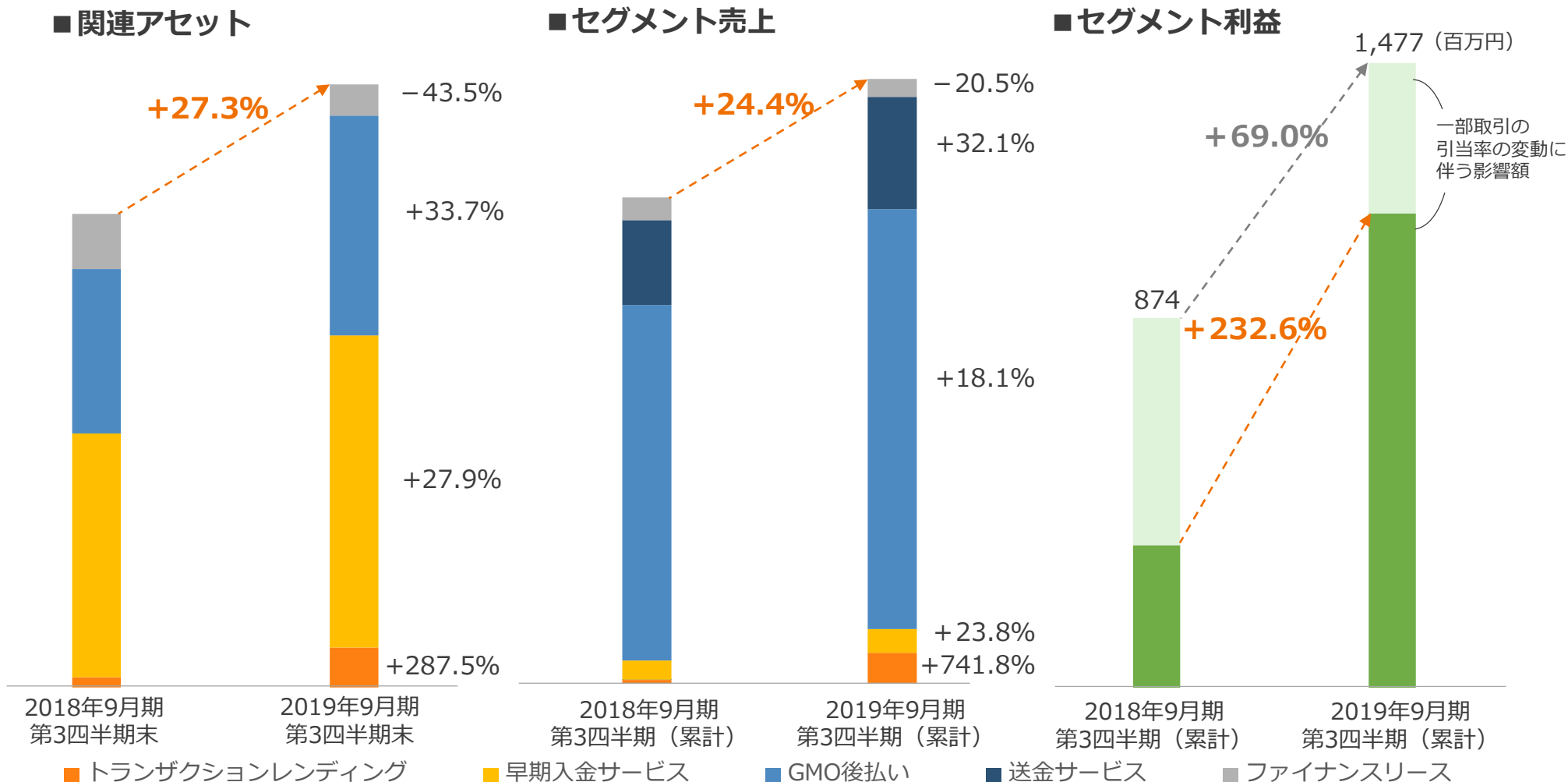
3年後



2.3.1 FinTech : 関連アセット及び収益の拡大

国内外レンディング急拡大とGMO後払いの収益性向上

(% : 対前年同期増減率)

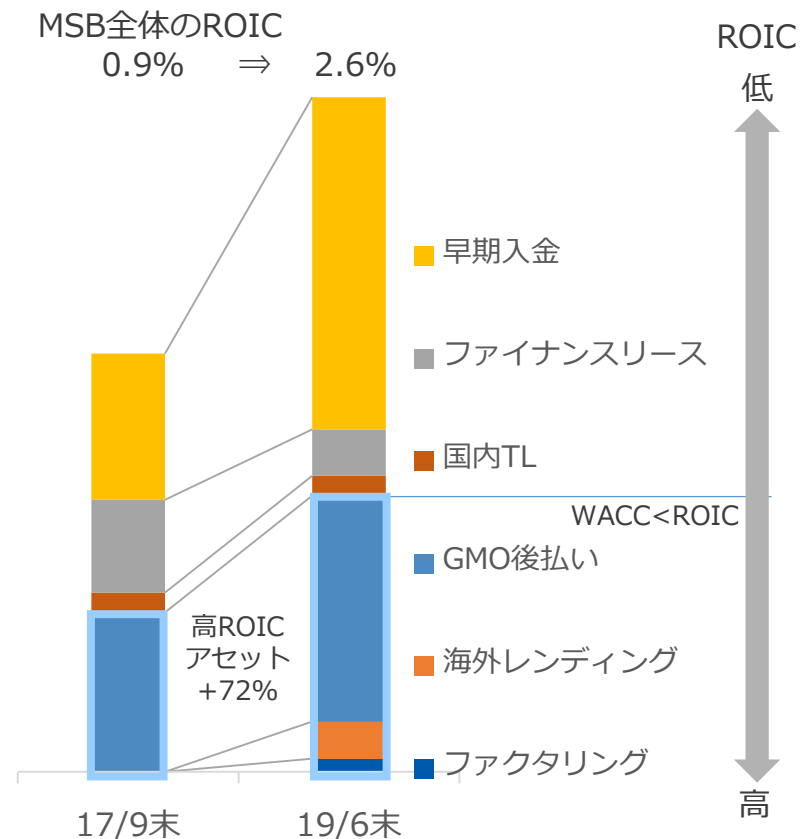


※ GMO後払い関連アセット（未収入金）は貸倒引当金控除後の数値

2.3.2 FinTech : 資本効率の向上

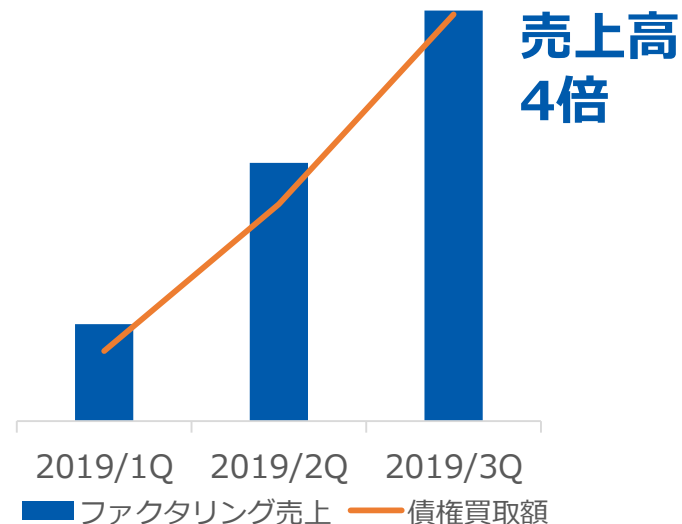
高ROICサービス創出・拡大によりMSBの資本効率の更なる向上を目指す

■ 金融関連サービスのアセットとROIC



※グラフは下からROICの高い順に各サービスを積み上げて作成
 $ROIC$ (投下資本利益率) = 税引後営業利益 ÷ 投資金額残高
 投資金額残高は前期末から各対象期末の残高の月次平均残高
 送金サービスはアセットを使用しないサービスのため未記載

■ ファクタリングの買取債権と売上推移



2020年1月よりインフォーマット社に
 BtoBファクタリング (GMO BtoB早払い) 提供開始

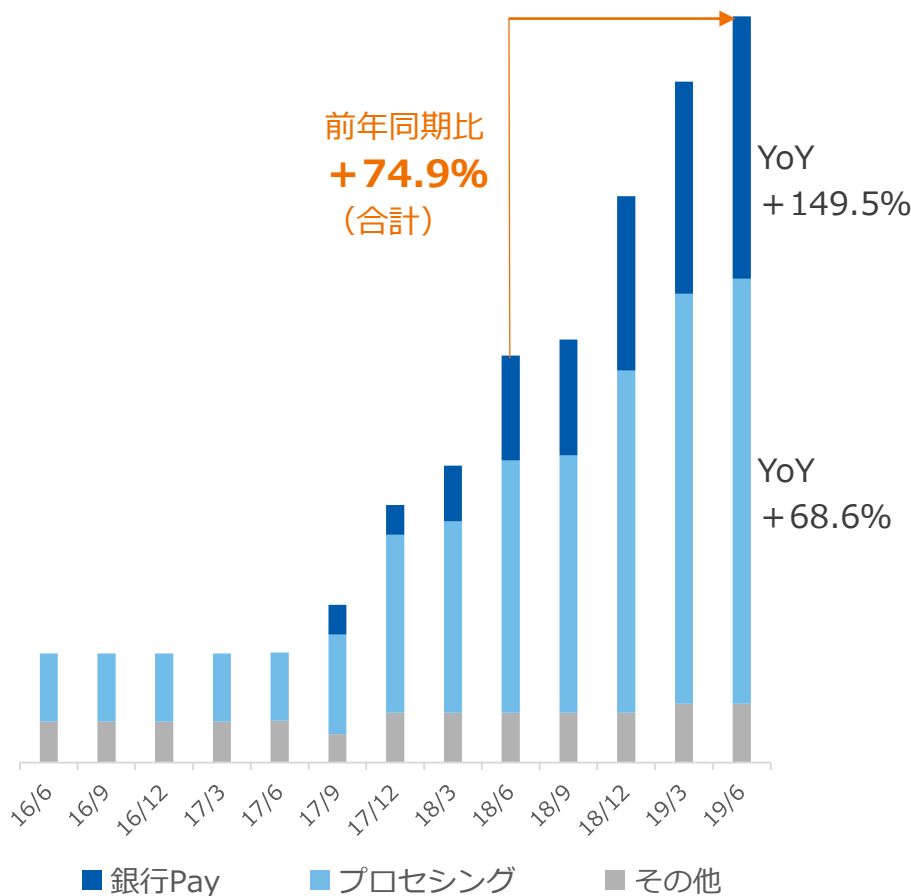


2.4 キャッシュレス：ストック収益の拡大

対面・非対面のシナジー強化により、キャッシュレス市場を多方面から深耕

■ 金融機関向けビジネスによるストック収益（単Q）

■ キャッシュレス決済市場（対面・非対面）に対するグループ戦略



GMO PAYMENT GATEWAY

目的：加盟店の要望や付加価値を決済面で支援

＜提供するキャッシュレスサービス＞

- ・ 銀行Pay（QRコード決済）
- ・ 金融機関等のイシューイング・アクワイアリング支援等
- ・ 無人店舗決済

GMO FINANCIAL GATE

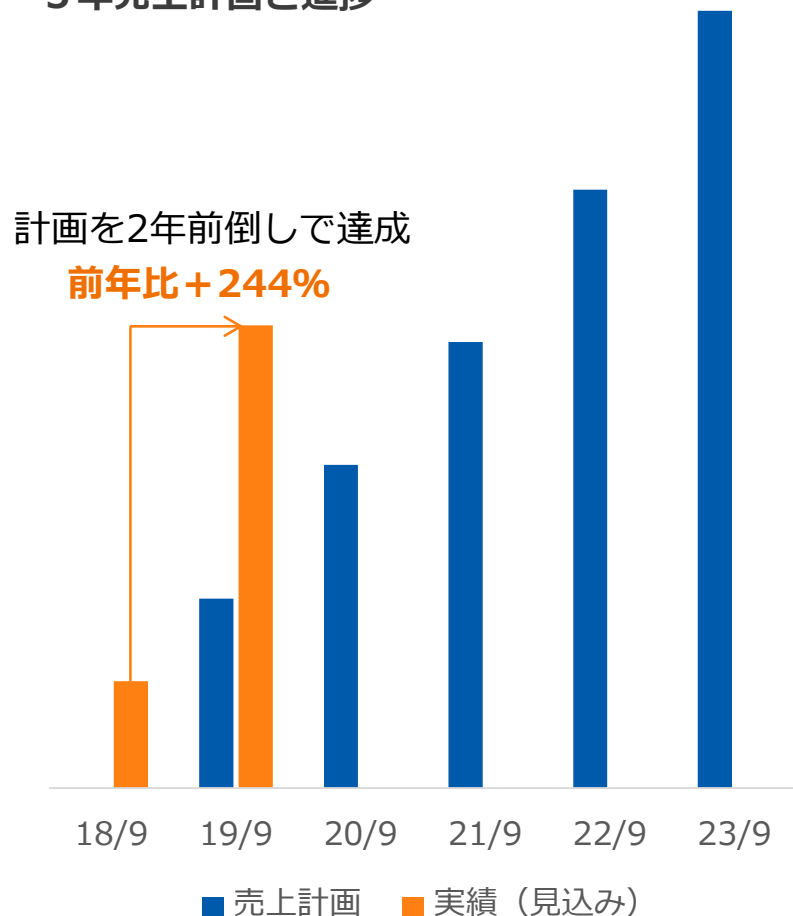
目的：決済端末の販売拡大を軸に事業展開

＜提供するキャッシュレスサービス＞

- ・ マルチ決済端末
- ・ 無人自動販売・サービス機
- ・ 次世代決済P/Fを活用した決済センター機能提供等

高成長市場において営業強化、大手加盟店への提供拡大を目指す

■ Unattended Markets (無人決済市場) 5年売上計画と進捗



■ 注力分野

自動販売機 前年比 +33%

- ・ 来期、大手加盟店の稼働が複数開始

精算機・セルフレジ 前年比+170%

- ・ 大型案件内諾済
- ・ 様々な業種への横展開に注力

券売機 前年比+650%

- ・ 大手メーカーとのリレーション構築
- ・ 来期、大手加盟店の稼働が複数開始

無人決済の浸透により、データのマネタイズへ
将来的に決済センターの付加価値を最大化

2.6.1 グローバル：5つの新決済領域

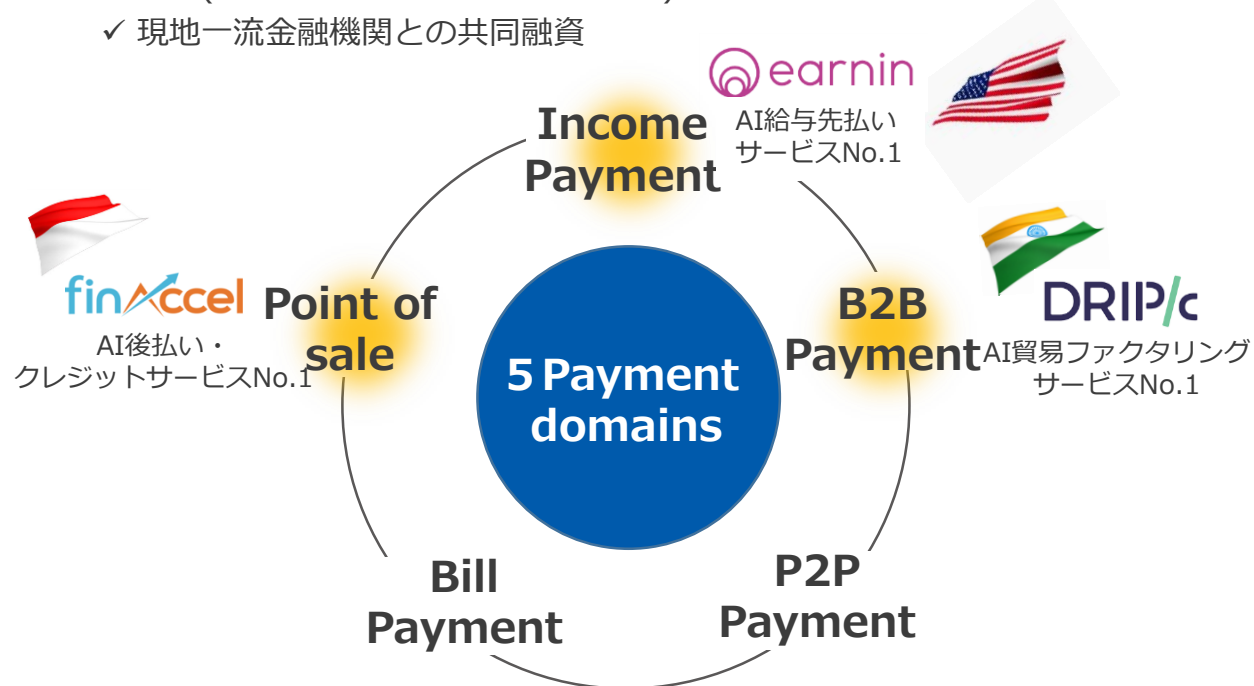
世界で注目される「AI×新決済領域」の開拓に注力、順調に進捗中

■ 5新決済領域に対する着手状況（海外／国内）

当社が取り組んでいる領域

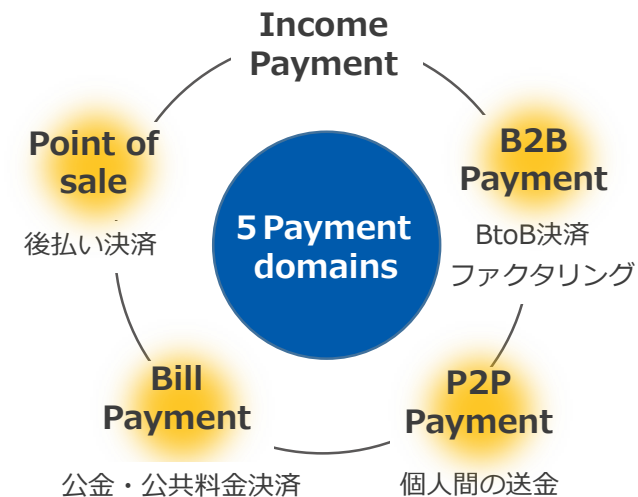
海外

- ✓ トップのFinTech／決済企業への投資
- ✓ 融資(ストラクチャードファイナンス)による収益創造・事業理解・関係強化
- ✓ 現地一流金融機関との共同融資



国内

自社グループ内で従前から幅広く事業展開



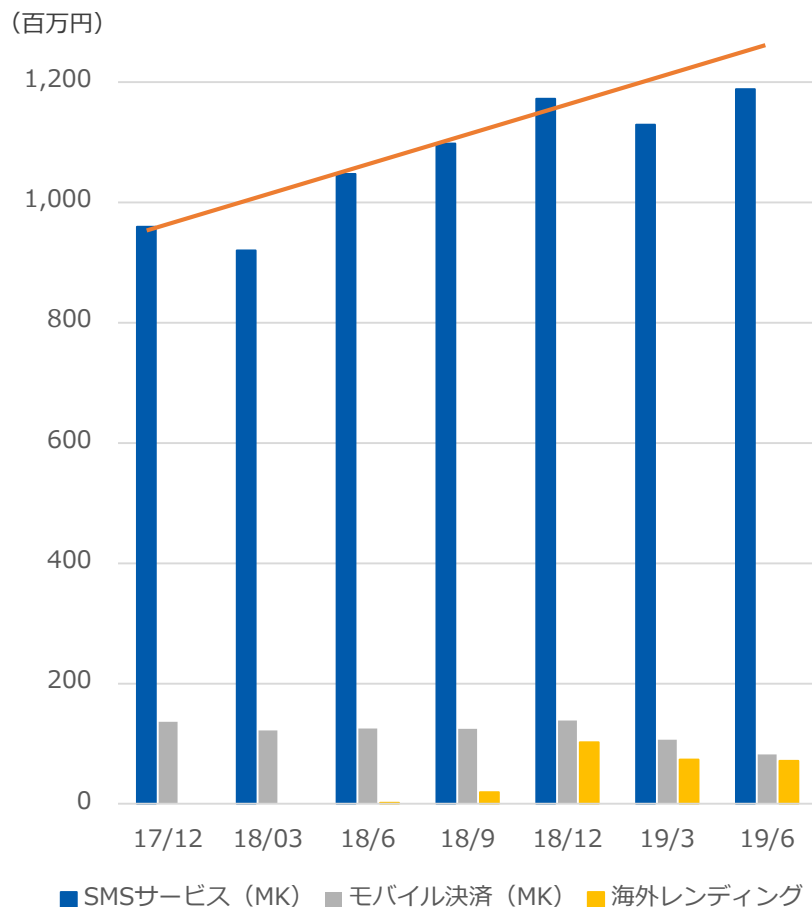
FinTechから決済への事業展開を実現し、決済  FinTech 還流モデルを中長期で創造していく

出処：CB INSIGHTS "Payments Trends to Watch in 2019"

2.6.2 グローバル：各サービス売上推移

レンディングが伸長、MKは課題局面にあるも周辺新興国開拓に注力

■ MacroKiosk及びレンディング売上推移（単Q）



MacroKiosk（全社）

前年同期比（単3Q）：+ 8.2%

- ・マレーシア事業が成長鈍化傾向も、周辺国で補完へ（イスラム圏の大型連休影響あり）
- ・CPaaS領域へのシフトおよび新興国での成長加速策に注力

■ EMS事業

前年同期比（単3Q）：+ 13.5%

■ MPS事業

前年同期比（単3Q）：- 32.6%

■ 海外レンディング

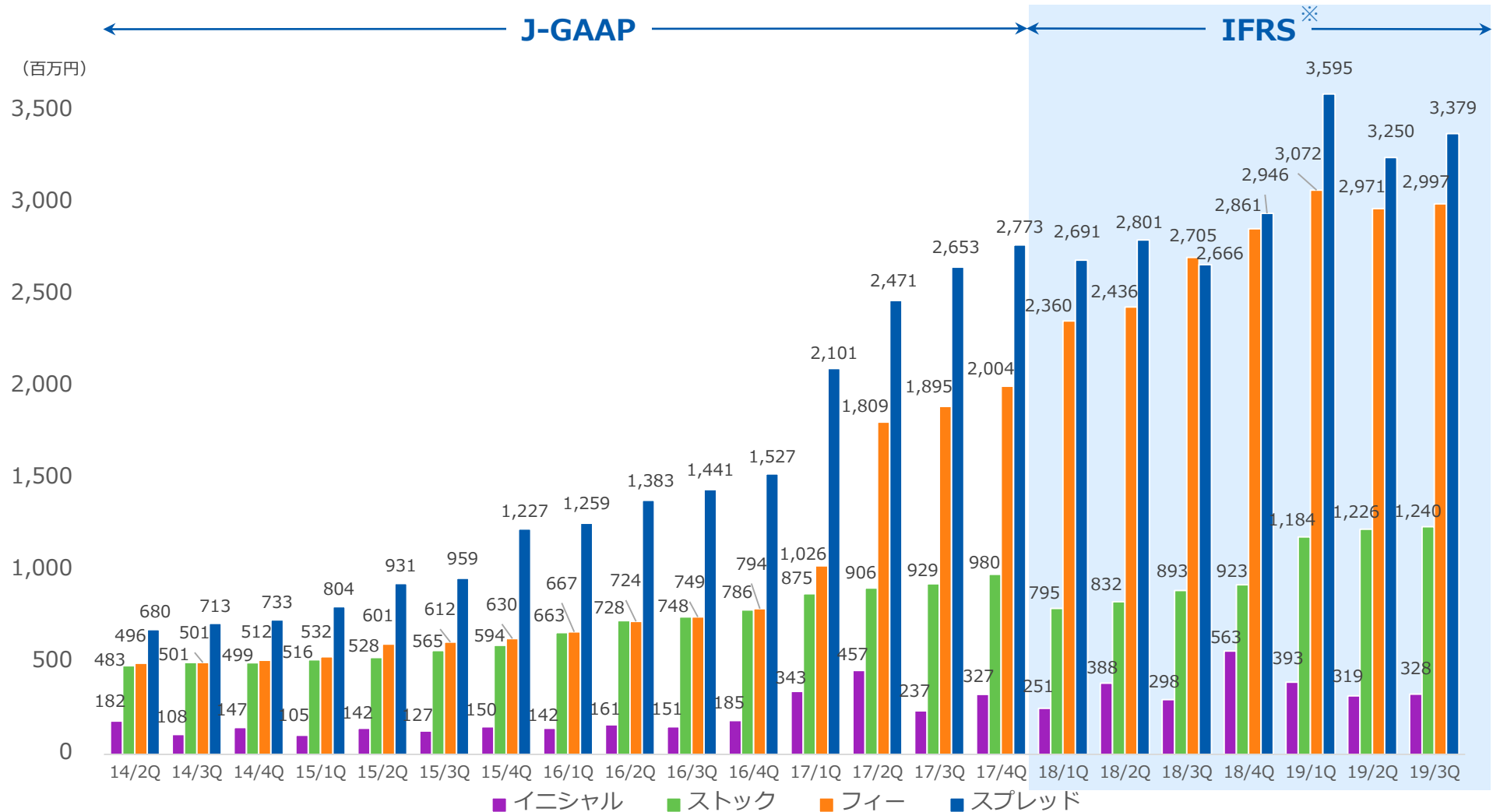
前年同期比（単3Q）：+ 3351.6%

※CPaaS：Communications Platform as a Service
EMS事業：SMSによる認証・ノーティフィケーションのサービス
MPS事業：モバイル決済サービス

3. 財務ハイライト

3.1 ビジネスモデル別売上収益

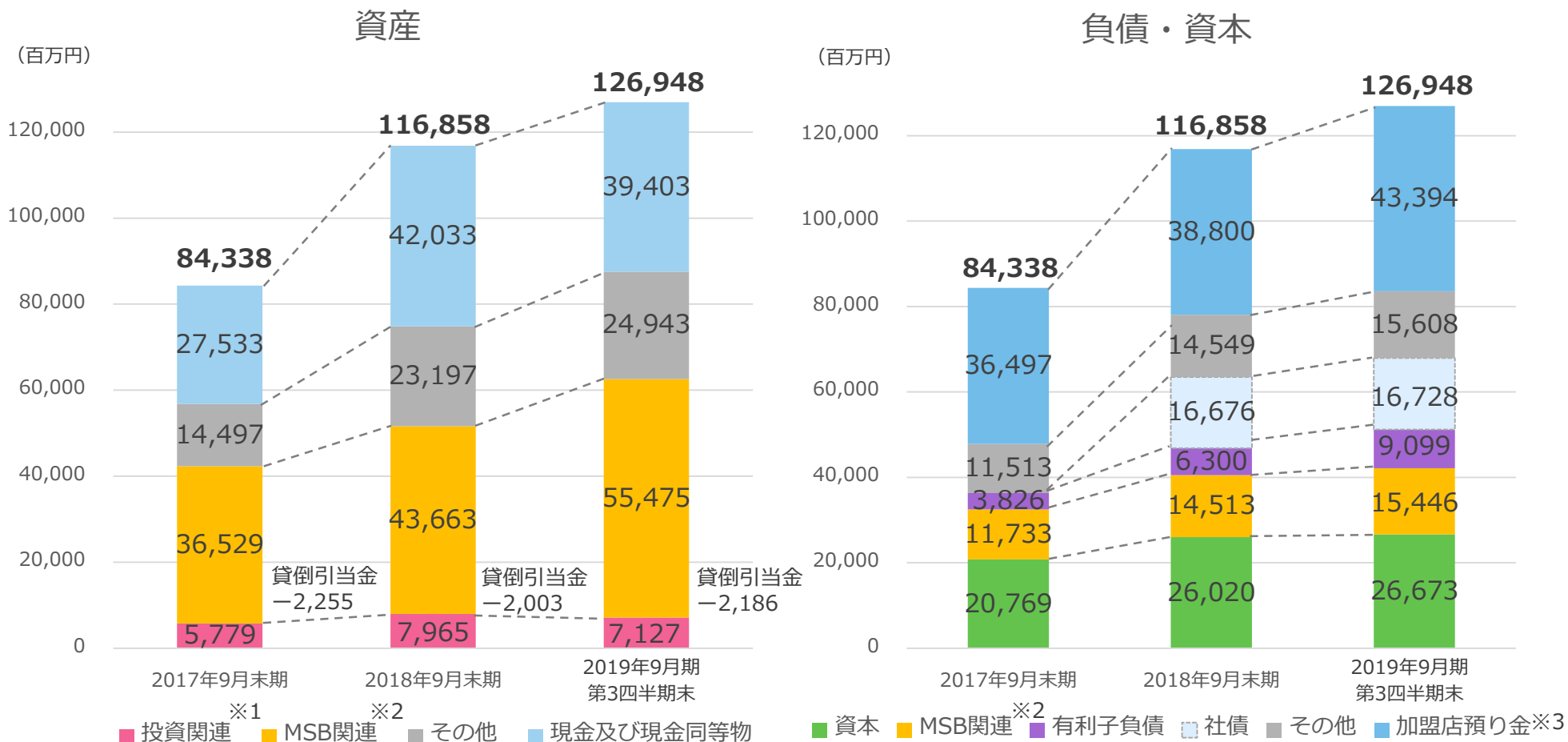
収益に関わるビジネスモデル毎の四半期推移



※マーケティング支援サービス（ストック）とファイナンスリース（スプレッド）の売上計上基準がIFRS適用によりグロスからネットに変更

3.2 B/Sの変化

預り金及びMSB関連アセットの増加



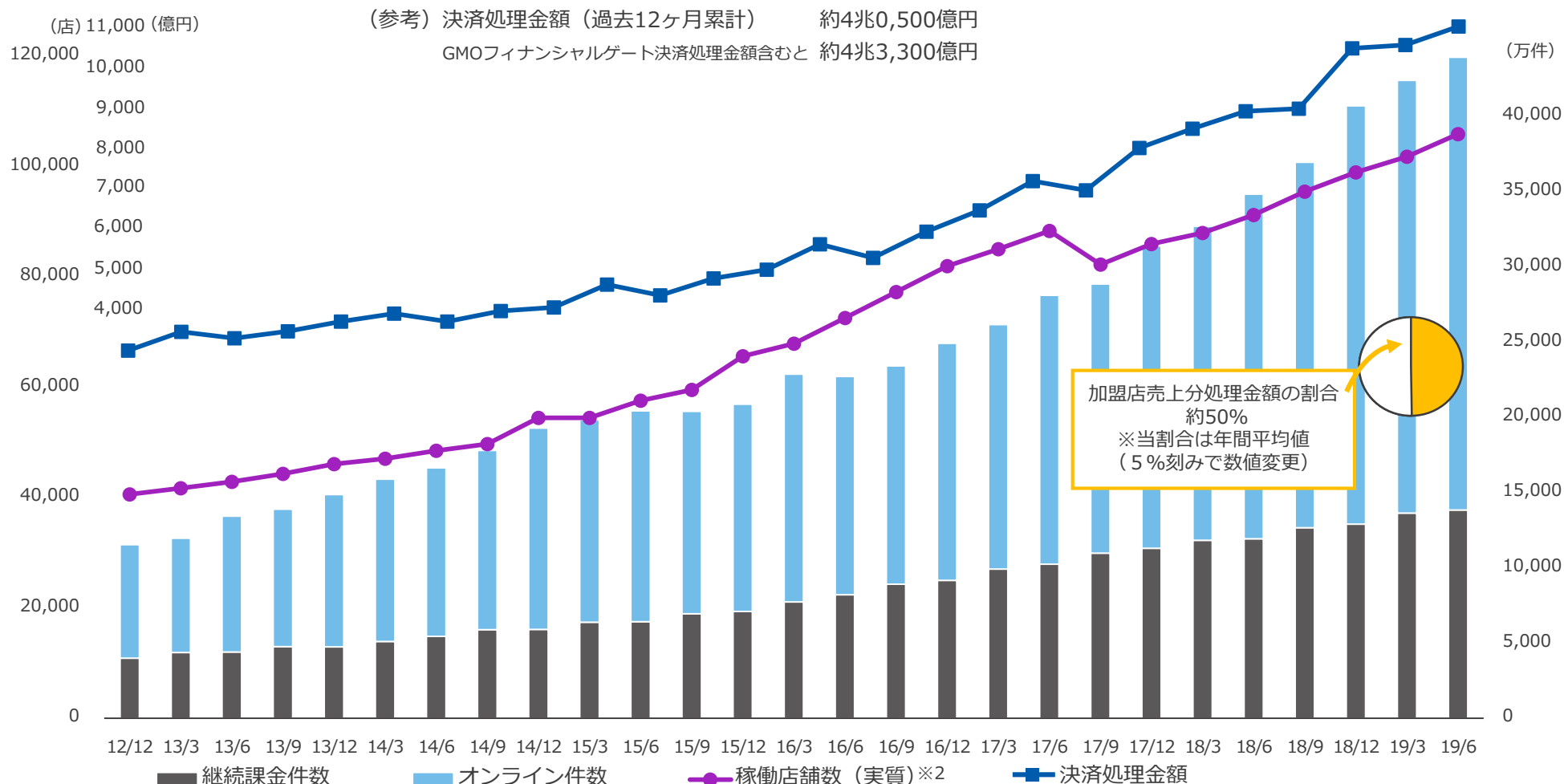
※1 投資有価証券勘定及び持分法で処理される有価証券

※2 MSB関連資産：リース債権、短期貸付金、前渡金、未収入金（貸倒引当金控除後） MSB関連負債：未払金

※3 代表加盟店契約の加盟店による預り金 ※4 金融資産及び金融負債については、一部相殺された金額で計上

3.3 主要KPI推移 (四半期推移)

グループ全体での決済処理金額は年間約4兆3千億円に
稼働店舗数 105,891店、決済処理件数 約4.3億件、決済処理金額 約1.09兆円※1



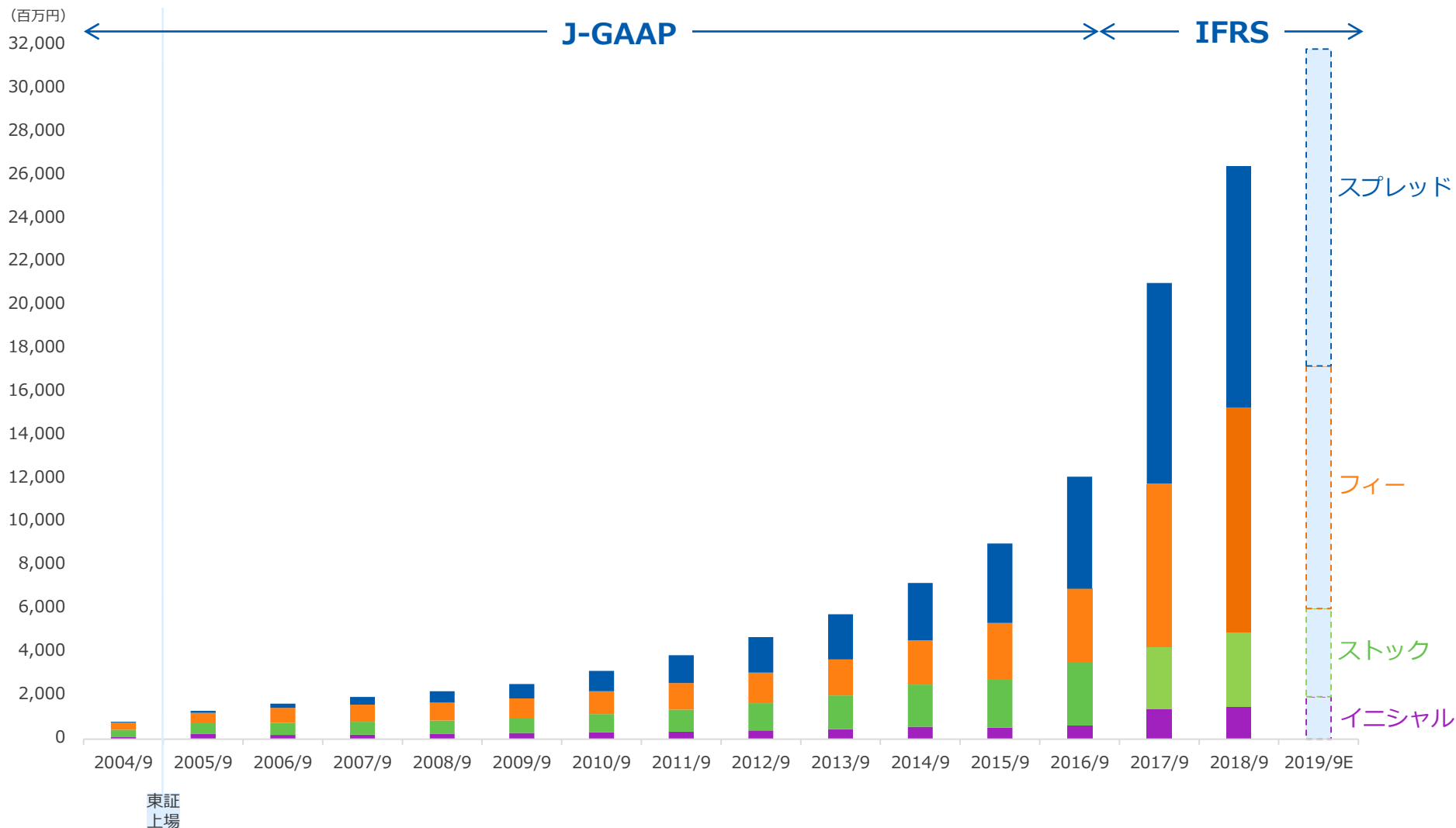
※1 稼働店舗数は四半期末時点、決済処理金額・件数は各四半期毎の実績

※2 直近の著しい稼働店舗数増加要因となる特定案件に係る新規店舗数を除く。なお、当該案件を含む2019年6月末時点の稼働店舗数は184,480店 (前年同期比+97.4%)

4. 参考資料等

4.1 ビジネスモデル別売上推移（年推移）

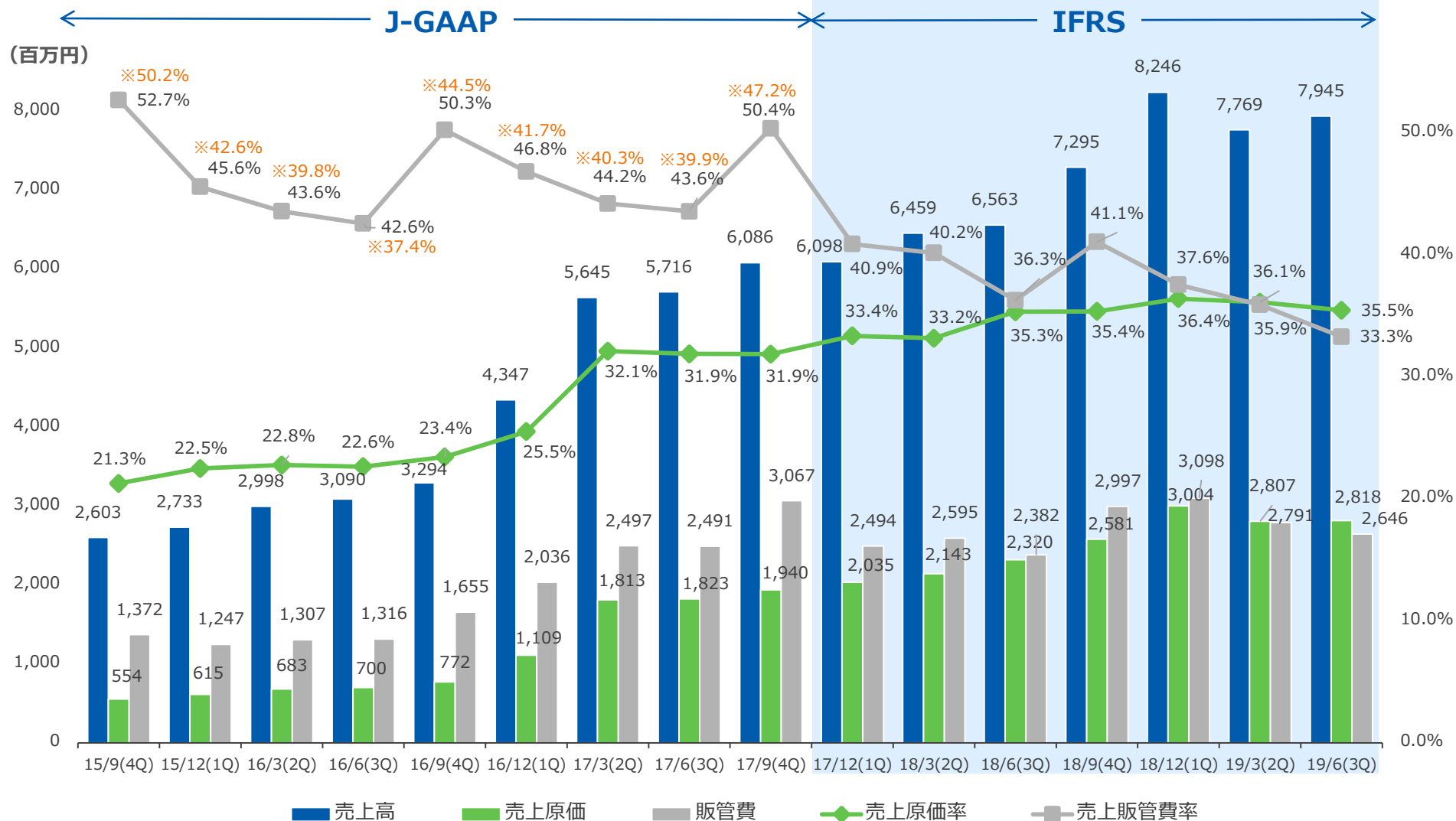
各種施策によりバランスの取れた売上成長を目指す



4.2.1 売上原価率・販管費率(四半期推移)

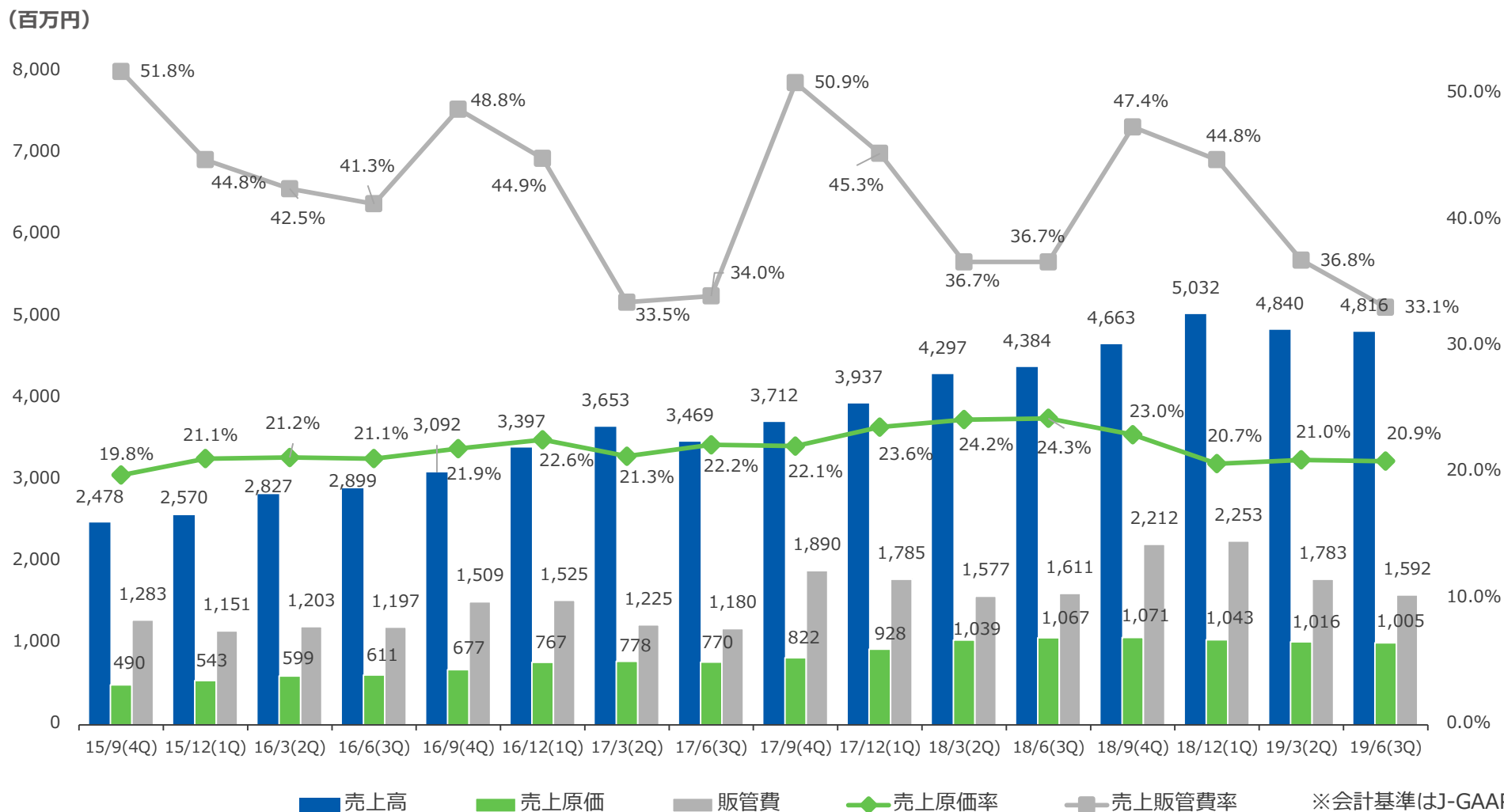
売上構成比の変化により原価率が変動

※MSBに関わる発生外部費用を除いた値
 会計基準変更につき、17/12(1Q)より販管費に含まれない

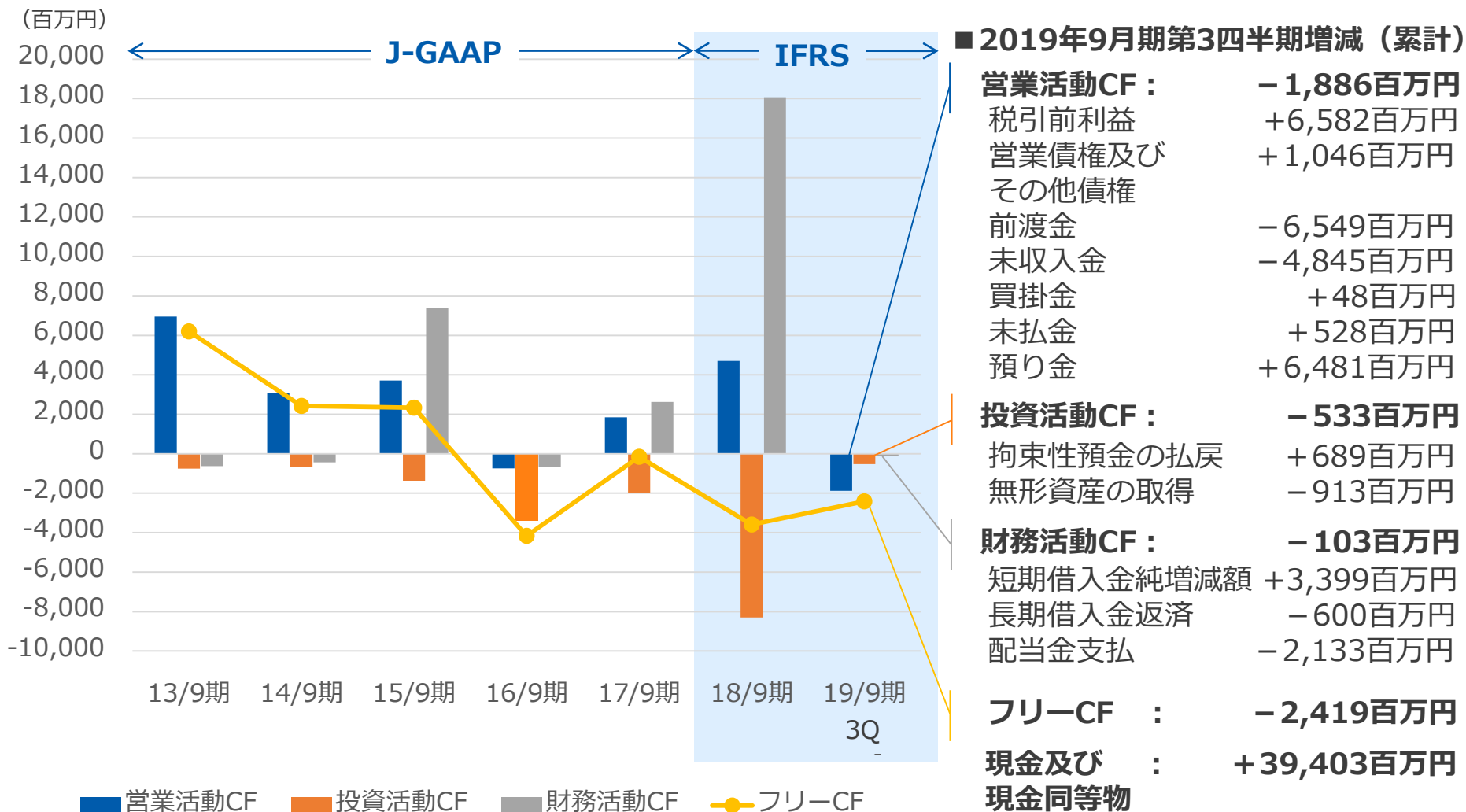


4.2.2 PG・EPのみの売上原価率・販管費率(四半期推移)

売上構成比の変化により原価率が変動



4.3 連結キャッシュフロー計算書



ありがとうございました

GMO PAYMENT GATEWAY

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

IRサイトURL <https://corp.gmo-pg.com/>

お問合せ・個別取材のお申込みは、企業価値創造戦略 統括本部 IR部までご連絡ください。

IR部 TEL:03-3464-0182